

令和5年  
(2023年)  
3月  
1日  
第971号

# 市民しんぶん



- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、掲載内容は変更になる場合があります。
- 掲載記事・施設の情報は、HPでも閲覧できます。

お早めに。  
受けていない方は

詳細は国で  
決まり次第  
HPに掲載します



財政難克服への道筋を付けました！  
改めて市民の皆さまの  
ご理解とご協力に  
感謝申し上げます。



# 令和5年度予算は 22年ぶりに 収支均衡を達成

市長就任以来、市民の皆さまの参加と協働をまちづくりの根幹に据え、福祉・子育て・教育に加えて、文化を基軸としたまちづくり、京都の守るべき景観の骨格を堅持しつつ創造的に継承していく景観政策、いのちと暮らしを守る防災基盤の整備など、国とも連携した積極的な政策を進め、まちの活性化、都市格の向上を図ってまいりました。

こうした中、3年前、今、改革に着手しなければ、市民の皆さまとともに積み上げてきた魅力あふれる京都の未来が水泡に帰すという危機感を抱き、4期目の市政にあたって、これまでにない挑戦と改革を掲げ、未来に責任を持ち、持続可能な財政を確立することを皆さまとお約束いたしました。

そして、開かれた場での徹底した議論などを経て、令和3年に行財政改革計画を策定。都市の成長戦略も含めて、10年を超える将来を見据える中で、当面5年間を計画期間、直近の3年間を集中改革期間として位置付け、持続可能な行政への道筋を付けることとしました。この間、私自身が覚悟を持って、また全庁一丸となって市民の皆さまに説明責任を尽くし、この改革を成し遂げ、明るい展望を開く決意で、市政に臨んでまいりました。

このたび、市民の皆さまのご理解の下、進めてきた取り組みが実を結び、長年にわたる収支不均衡を解消し、財政難克服への道筋を付けることができました。改めて市民の皆さまに心から感謝を申し上げます。

京都市長 門川 大作

文化庁移転を祝し、華道家・池坊専宗さん、壬生寺貫主・松浦俊昭さんと  
門川市長が暮らしの文化について語り合います。すてきな読者プレゼントも。

8・9面に掲載

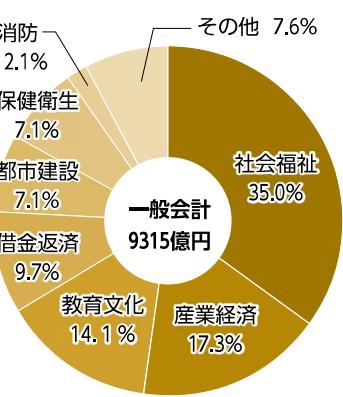
# 明るい未来をつくる

# 令和5年度予算

— 22年ぶりに収支均衡を達成 —

※市会で審議中

予算の内容を詳しくお伝えするため、2ヶ月連続で特集。今回は、「令和5年度予算のポイントと今後の市政運営」について説明します。



	全会計	一般会計	特別会計 (国民健康保険や介護保険他)	公営企業会計 (市バス・地下鉄・上下水道)
	1兆7千940億円	9千315億円	6千142億円	2千483億円

## 予算内訳

## 予算概要

### 編成のポイント

「くらしに安心」「まちに活力」「みらいに責任」

の3つに重点を置き編成。

● 子育て支援・教育の充実や、若者・子育て世代の住まいや働く場の創出を最重点課題として対応

● 将来世代に負担を先送りせず、特別の財源

対策（公債償還基金へ将来の借金返済のための積立金／の計画外の取り崩しなど）から脱却

※他の自治体で実施されている特別的な借金である行政改革推進債もゼロに

### くらしに安心

コロナ禍と物価高騰で厳しい状況にある市民生活を下支え。

● 子ども医療費支給制度の拡充

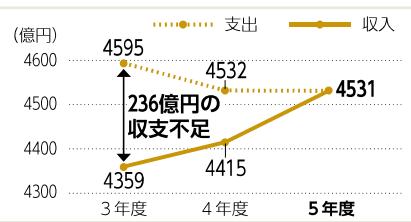
● 市独自の保育料の軽減を継続

● 全員制中学校給食実施に向けての調査

### 収支状況と改革の成果

#### 収支状況

#### 集中改革期間3~5年度予算の収入と支出の差（一般財源注）



#### 支出減の主な要因

- 業務組織の見直しや民間委託の推進などにより、職員数を439人削減するとともに、元年度比で時間外勤務を2割縮減し、計90億円を削減
- 行政改革計画で定めた支出の上限額を厳守
- 術金・イベントの総点検や受益者負担の適正化を実施
- 敬老乗車証制度など、市独自の施策については、将来にわたり受けられるよう、内容を見直した上で制度を維持
- この他、市民のいのちと暮らしを守る財源を確保するため、給与カットなどにより捻出した50億円を基金に積み立て

問合せ 財政室 ☎ 222・32288 FAX 222・32283



- まちに活力
- 若い世代向けの居住・就業環境の創出や、企業立地の促進、文化庁の移転を契機にした文化を基軸にしたまちづくりなどに注力。
- 空き家・既存住宅の活用と流通促進
- 都市計画の見直しと連動した才媛（ひめ）・ラボ空間の創出への支援
- 子どもたちが文化芸術に出会う場の創出

### 重点3

- みらいに責任
- 高齢化等による社会福祉関連経費の増加などに対応する予算の確保や、市独自の市民サービスを維持するため、行政改革を継続。
- 職員数・時間外勤務の削減
- 公共施設の統合・民営化
- 施設使用料や手数料などの受益負担の適正化

革により236億円あつた収支不足がゼロになります!

### 収入増の主な要因

- まちの活性化や国・府と連携した市民所得の向上につながる経済政策などに取り組み、市税收入が増加
- 市の税率が増えると減少する地方交税について、国に対して増額を強く要望した結果、市の税率が増える中でも増額に

### 【今後に向けて】

集中改革期間での取り組みの結果、特別の財源対策から脱却しました！



- 社会福祉などの経費が増加する中、引き続き、改革と都市の成長戦略を進めます。
- 子育て・教育環境の充実や企業の定着・誘致など、若者・子育て世代が住みやすいまちづくりを推進
- 5年度予算で達成した「特別の財源対策ゼロ」を継続
- これまでに取り崩した公債償還基金505億円を積み戻し
- 市債発行を抑制し、毎年の借金の返済額を削減

- こうした取り組みを確実に実現するため、財政運営の目標等を定めた計画の策定や、策定の際の市民意見の募集などを義務付け、改革を市民の皆さんと共に進める条例について、現在市会で審議中



● 市内中心部にある十字路がずれた交差点では、道路標識を十分に確認するなど、注意して走行しましょう。

# ここが知りたい 京都市のお金の事情編 市債（市の借金）編

**Q** 今までの借金は返せているの？

**A** 毎年返済しています。

市債残高も着実に減らしています。

市債の返済に支障が出ないよう、収支増や事業の見直しなどに取り組み、支出が収入を上回らない計画的な財政運営を行っています。

また、毎年の返済額が多額となり、将来に過度な負担をかけることがないよう、毎年の返済額よりも新たな市債の発行額が小さくなるよう取り組んでいます。

※令和5年度返済1千57億円、借り入れ846億円（一般会計返済559億円、借り入れ421億円）

**ひとくちメモ**

**市債とは**

道路や学校等の公共施設や地下鉄の建設などの際に、財源として市が発行するもの。法に基づき、国の許可を得て発行し、銀行などの金融機関や個人が購入する。返済期間は、おおむね30年。

**市債残高（全会計）**

年	債務残高 (億円)
平成14年 決算	20,957
24年	18,786
令和3年 決算見込み	16,109
4年 決算見込み	15,978
5年 予算	15,767

**Q** なぜお金を借りるの？

**A** 公共施設の整備などにかかる費用をことで、施設を利用することで、施設を整備したときの世代だけでなく、実際に、市債で資金を調達することで速やかに事業に取り組むことができます。

道路や学校などの公共施設は、長期間にわたり市民の皆さんにご利用いただくものです。市債を発行して分割して返済することができます。また、災害復旧など一時に多額の費用を要する事業を行う幅広い世代で公平に費用を負担することができる。

**Q** 具体的にはどんな使い方をしているの？

**A** 次のような公共施設（長期間使うもの）を造るために使っています。

**鳥羽第3導水きょ（下水道）の整備**

**西羽束師川の整備**

**岩倉北小学校の体育館の整備**

**Q** そもそも、今どのくらい借金しているの？

**A** 1兆6千109億円です。

消防・防災 271億円  
産業振興 276億円  
文化・スポーツ 277億円  
福祉・衛生 350億円  
ごみ処理 362億円  
教育 1151億円  
道路・河川・公園等 2665億円  
水道・下水道 4254億円  
交通 4694億円  
その他 1809億円

※臨時財政対策債（国が返済に責任を持つ借金）を除いた、市が返済の責任を負う金額を記載  
※教育・福祉・道路整備などの行政サービスを行う一般会計（公営企業などの特別会計を除く）の借金は8420億円

**Q** ここまで借金は返せているの？

**A** 每年返済しています。

市債の返済に支障が出ないよう、収支増や事業の見直しなどに取り組み、支出が収入を上回らない計画的な財政運営を行っています。

また、毎年の返済額が多額となり、将来に過度な負担をかけることがないよう、毎年の返済額よりも新たな市債の発行額が小さくなるよう取り組んでいます。

※令和5年度返済1千57億円、借り入れ846億円（一般会計返済559億円、借り入れ421億円）

**Q** なぜお金を借りるの？

**A** 公共施設の整備などにかかる費用をことで、施設を利用することで、施設を整備したときの世代だけでなく、実際に、市債で資金を調達することで速やかに事業に取り組むことができます。

道路や学校などの公共施設は、長期間にわたり市民の皆さんにご利用いただくものです。市債を発行して分割して返済することができます。また、災害復旧など一時に多額の費用を要する事業を行う幅広い世代で公平に費用を負担することができる。

**Q** 具体的にはどんな使い方をしているの？

**A** 次のような公共施設（長期間使うもの）を造るために使っています。

**鳥羽第3導水きょ（下水道）の整備**

**西羽束師川の整備**

**岩倉北小学校の体育館の整備**

**Q** そもそも、今どのくらい借金しているの？

**A** 1兆6千109億円です。

消防・防災 271億円  
産業振興 276億円  
文化・スポーツ 277億円  
福祉・衛生 350億円  
ごみ処理 362億円  
教育 1151億円  
道路・河川・公園等 2665億円  
水道・下水道 4254億円  
交通 4694億円  
その他 1809億円

※臨時財政対策債（国が返済に責任を持つ借金）を除いた、市が返済の責任を負う金額を記載  
※教育・福祉・道路整備などの行政サービスを行う一般会計（公営企業などの特別会計を除く）の借金は8420億円

**Q** ここまで借金は返せているの？

**A** 每年返済しています。

市債の使い道は、公共施設の建設や災害の復旧事業などに限られます。お金がないからといって、無計画に借り入れることは法律上できません。

ピーカ時（平成14年）の市債残高は2兆957億円。そこから5千190億円（25%）を減らしています。今後も縮減に努め、将来に過度な負担をかけない財政運営を行っています。

**Q** なぜお金を借りるの？

**A** 公共施設の整備などにかかる費用をことで、施設を利用することで、施設を整備したときの世代だけでなく、実際に、市債で資金を調達することで速やかに事業に取り組むことができます。

道路や学校などの公共施設は、長期間にわたり市民の皆さんにご利用いただくものです。市債を発行して分割して返済することができます。また、災害復旧など一時に多額の費用を要する事業を行う幅広い世代で公平に費用を負担することができる。

**Q** 具体的にはどんな使い方をしているの？

**A** 次のような公共施設（長期間使うもの）を造るために使っています。

**鳥羽第3導水きょ（下水道）の整備**

**西羽束師川の整備**

**岩倉北小学校の体育館の整備**

**Q** そもそも、今どのくらい借金しているの？

**A** 1兆6千109億円です。

消防・防災 271億円  
産業振興 276億円  
文化・スポーツ 277億円  
福祉・衛生 350億円  
ごみ処理 362億円  
教育 1151億円  
道路・河川・公園等 2665億円  
水道・下水道 4254億円  
交通 4694億円  
その他 1809億円

※臨時財政対策債（国が返済に責任を持つ借金）を除いた、市が返済の責任を負う金額を記載  
※教育・福祉・道路整備などの行政サービスを行う一般会計（公営企業などの特別会計を除く）の借金は8420億円



京都いつでもコール

みなここ 661-3755

こようはここ FAX 661-5855

※8~21時、FAX・メール：24時間（年中無休）。おかげ間違いにご注意ください

京都いつでもコール 検索